

屯田兵通信

発行 大地を考える会
TEL 0287-54-3944
携帯 080-3214-4851
URL <http://fukasawa.jimdo.com>

2011年3月11日に発生した東北関東大地震に被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

1、はじめに

三月定例議会は3/4 召集されて3/22最終日という事で始まった、そして一般質問の最後の日に大震災に遭遇してしまったのです。議会休憩中に発生したために議員は全員無事であったが、見ている間に庁舎の窓ガラスがわれ、繋ぎ部分に亀裂が入り、その日は解散となり帰宅したが、市内各所には石塀が崩壊し、道路や下水工事個所には亀裂が入り、道路が歪んでしまったのです。

建物被害は瓦屋根が崩れ、塀が倒れる、人的被害は重症者4名、軽傷5名の被害となったのです。大田原市が被った被害額はまだ明らかになっていないが大変な被害を受けたのは明らかです。今でも時々余震がある。

この非常事態に市役所機能を速やかに平常時に取り戻す事が重要です。そして行政の指令系統を一本化し、対処していく事です。議会も行政と一丸となって復興に努める事だと思います。

そしてこんな災害時だからこそ流言飛語を謹んで対処する事なのではないでしょうか。

2、東日本大地震

今回の大地震の直接的被害は津波によるものであり、死者・行方不明者は30,000人以上になると推定され、更にはこれから静かに影響してくるのが福島第一原発事故に伴う、放射能汚染問題だ。之はこれから農業関連に致命的打撃を与えるかもしれない。

そしてこんな時だからこそ、猪突猛進し騒ぐだけで行政を混乱させる事は最も慎むべきかと考えます。日本人はこれまで幾多の困難を乗り越えて今日の繁栄を築いてきたのです。日本人は団結し、未曾有の危機を乗り切っていこうではありませんか。

3、異例中の異例の三月定例議会報告

新市長が市長になって初めての新年度予算案作りであって緊張した中で始まった。新年度予算案作りの審議の中で争点は国保税値上げ問題をどうするかであり、もう一つは給食費無料化案である。

大田原市の国保会計はこれまで値上げしないで済んだのは合併時の黒羽、湯津上の国保基金があったからこそ、その基金を食潰して国保税の値上げがなかっただけの事である。国保税の値上げは前執行部が先送りしてきたに過ぎないのだ。それが底をつき、待ったなしに陥ってしまった結果値上に踏み切らざるを得なくなったのです。

それには国保税滞納金が10億円にものぼり、それを一般会計から繰り入れろとする意見とこの値上げ止むなしとする意見の激突となったのです。更に給食費無料化などのバラマキ策をやるから、大田原市の財源は逼迫したのだ。即刻給食費無料化などはひっこめろと新市長には手痛い怒号が飛び交うものであった。

私は国保税値上げに関しては市民の最後の生命の砦である国保制度は維持すべき観点から値上賛成でした。

国保会計の値上には滞納者の問題、大田原市の国保税制度にも問題点がある事が歴然としたのです。

一般会計から繰り入れろという意見には大田原市の一般会計はハコモノ政策のために財政の動脈硬化現象を起こしていて一切の余裕がなくなっているものだと判断します。従って一般会計からの繰り入れといっても絵に描いた牡丹餅でしかない。

4、まとめとして

★市民目線の議会改革推進

市民にとって議会と市長は車の両輪であり、二元代表制である。

★健全な財政運営を確立する

収支バランスが取れた均衡財政を徹底し無借金&減税自治体の確立を。

★歴史や文化や自然破壊を許しません。

★郷土の資産を生かした公共施設を次世代に残して行こう

八溝の森林資源活用、コンクリ神話は崩壊した。

★食料自給は日本の安全・平和のために、安易なTPP締結は反対

★政治は弱者のために、行政は公平・平等に

国保制度は堅持し、国保税方式を二方式から、四方式へ。

★ハコモノ行政を極力抑制し、子供たちにツケを残さない

★『豊かな公共、小さな役所』

【今紙上に於いて「福島第一原発」を「いわき原発」と表記してしまったことを訂正しお詫び申し上げます。】